

乳酸菌生産物質引き合い強く 増産体制確立へ

「複合乳酸菌生産物質」FF-16[®]

創業から半世紀以上にわたり乳酸菌生産物質の開発、製造販売を行ってきた(株)光英科学研究所(埼玉県和光市、☎048-467-3345)。ここ数年の健康意識の高まりを背景に、国内外のメーカーから問い合わせが相次いでおり、同社原料への引き合いが強まっている。これを受け同社では製造体制の強化を決定。発酵タンクの増設に着手し、このほど工場環境が整い増産を構築した。これまで注力してきた健康食品や栄養補助食品市場に加えて、一般食品や飲料など、新たな食品カテゴリーに向けた供給に本腰を入れていく。

有用菌16種35株を組み合わせた 唯一無二のワンチーム

腸内細菌の関心が高まり、消費者の認知が拡大した乳酸菌。最近では腸内で代謝される有用物質に注目が移行し、研究が進んだ昨今では、腸内の善玉菌が作り出す短鎖脂肪酸が脚光を浴びている。短鎖脂肪酸はヒトが健康に生活していくのに必要不可欠な物質。同社が開発、製造した乳酸菌生産物質は、製造工程中で複数種類の乳酸菌やビフィズス菌が作りだすこれら短鎖脂肪酸を含めた有用物質を丸ごと製剤化しているが特長。“有用物質をダイレクトに摂取できる機能性素材”として関心が寄せられている。

乳酸菌生産物質を開発した約20年前、同社が元菌として厳選した16種35株の有用菌群は、それぞれの作用を相乗的に高める強固なワンチームとなった。独自の共棲培養法で培養されることで、特徴的な代謝産物を産み出す。完成された菌の組み合わせは培養を何度繰り返しても、その構成やバランスが崩れず維持され、長年の研究によって辿り着いた唯一無二の処方となっている。

今年2月に会長に就任した村田公英氏は「当社の複合乳酸菌生産物質、『FF-16』は熱に強く加工しやすい上、嫌な匂いも無く、対象素材の風味を損ねない。サプリメントは

もちろん、一般食品としても好適。今後は、より多くの人に複合乳酸菌生産物質の効果を体感して頂きたい」と力強く話す。

月産20トンを実現 GMP認証で高品質原料を製造

乳酸菌生産物質を製造するのは本社施設に隣接する自社工場。乳酸菌生産物質メーカーでは初となる「原材料」、「製品」の2分野でGMP適合認定をダブル取得している。より厳しい品質管理が求められる一般食品原料としての採用に向け、道筋を大きく開いた格好だ。現在サプリメントへの採用が多いが、一般食品原料としての採用は複数の案件が平行して進んでおり、今回の発酵タンク増設はそうした需要に対応するため。村田会長は「これまで数多くの食品メーカー担当者と打ち合わせを行ってきたが、年々乳酸菌生産物質への関心が高まっていることを実感している。素材の実力を知ってもらうにつれ、担当者の商品開発に対する熱量が上がっている」とし、オープンマーケット進出への手応えを語る。工場では従来設置している発酵タンク3基(容量1トン)に加え、今回新たに2トンのタンク1基を追加した。設備の増強により、製造能力は飛躍的に向上。月産で20トンまで引き上げた。



第2工場 全ステンレス張り 工場全景



大型連続豆乳製造装置



12トン 原液貯蔵タンク群



実機開発用 100kg 300kg 発酵タンク



第1工場 500kg 1000kg 発酵用タンク



第1工場にて発酵完了液の濃縮用 エバポレーター



第2工場 4000kg 発酵タンク群



第2工場 2000kg 大量搾汁



第2工場 発酵スターター製造室

人の健康は乳酸菌の「菌体」から「代謝物」の時代に。



乳酸菌16種35株の共棲培養技術

腸内善玉菌群代謝物「複合乳酸菌生産物質」

圧倒的な品質力にて働きかけ明確な体感による高いリピート率と信頼性を獲得しています。

腸内フローラ由来の16種35株の乳酸菌チームが作りだしたのが「複合乳酸菌生産物質」Sixteens[®] FF16[®]です。

国際的安全基準であるGLP適合施設で90日間長期安全性と、有名大学にて栄養生理学的安全性の試験を行っております。



koei-science.com

検索

健やかな健康維持・増進のために

株式会社 光英科学研究所

〒351-0115 埼玉県和光市新倉5-1-25 TEL : 048-467-3345 FAX : 048-467-3374